

時計、お金、身だしなみ。 毎日の「できた」を、自立へ。

ぐりーんの支援プログラムのご紹介 | 生活自立・はたらく準備



「時計が読めず、次の行動に切り替えられない」「忘れ物が多い」「体調が悪くても伝えられない」。生活の中の小さなスキルは、学校生活やその先の「**はたらく**」を支える土台です。ぐりーんでは「**プログラム教材**」をもとに、一つずつ段階的に練習していきます。

教材でサポートできる5つの分野



運動あそび
制作・運筆



ソーシャルスキル
話す・聞く・やりとり



学習・宿題支援
読み書き・計算



生活自立
はたらく準備



授業ツール
支援ツール

教材にもとづく支援だから、安心して続けられます

ぐりーんでは、発達の順番に沿って組み立てられたプログラム教材を使い、担当のスタッフが個別支援計画や専門的支援計画に基づいて支援しています。

品質にばらつきが少ない

教材の手順にそって進めるので、担当者による差が出にくい

段階的にレベルアップ

「今できること」を確かめ、次のステップへ段階的に

ご家庭とも共有しやすい

ねらいが明確なので、取り組みを具体的にお伝えできる

こんなお悩み、ありませんか？

時間やお金、身の回りのことについてのご相談も、見学時によくいただきます。ぐりーんでは、それぞれに合った教材と進め方で支援しています。

「時計が読めず、切り替えが難しい」
「あと何日？がつかめない」

ぐりーんでは

カレンダーづくりから始め、デジタル時計、アナログ時計へと7つのステップで進めます。

くわしくは P.3

「お金の計算や、お買い物に自信がない」

ぐりーんでは

お金の名前 → 合計 → 両替の順に、ゲームとプリントを組み合わせで練習します。

くわしくは P.4

「季節に合った服を選べない」
「体調が悪くても伝えられない」

ぐりーんでは

服装・清潔・生活リズム・体調を伝えることを、場面ごとに練習します。

くわしくは P.4

「忘れ物・なくし物が多い」
「予定を立てるのが苦手」

ぐりーんでは

置き場所の工夫や持ち物チェックから、1週間・1か月の予定づくりへ進めます。

くわしくは P.5

「外でのマナーや、危ない場面が心配」

ぐりーんでは

「この後どうなる？」を予想する練習で、ルールと身を守る方法を考えます。

くわしくは P.6

「わかる」から「毎日つかえる」まで

生活のスキルは、できるようになっても使わなければ定着しません。教材でしくみを理解したら、手助けを少しずつ減らし、実際の生活の中で使えるところまでつなげます。

教材で
わかる

目で見て、手を動かして
しくみを理解する



支援を減らして
自分でやる

ヒントを少しずつ
減らしていく



生活の中で
毎日つかう

ご家庭や学校でも
できるように

01 カレンダー・時計を読む

時間の見通し

時間の感覚は、見通しを持って行動する力の土台です。プログラム教材では、カレンダーづくりから始めて、デジタル時計、アナログ時計へと、7つのステップに分けて進めます。



あさっては何日？

げつ か すい もく きん

11 12 13 14 15

緑の日が「きょう」



何時何分？

1 カレンダーを作る カレンダー

日付と曜日をあてはめて、「今日」「曜日」の感覚をつかみます。

2 時制を答える カレンダー

昨日・明日・おととい・あさって、「遠足まであと何日？」に答えます。

3 60までの数字 時計の準備

時計の前に、1～60の数字の読み書きを確認します。

4 デジタル時計を読む デジタル

「〇時〇分」と読み、「ちょうど」「はん」の言い方も覚えます。

5 短針を読む アナログ

時計盤を完成させてから、短針が指す「〇時」を読みます。

6 長針を読む アナログ

目盛りを読んで「〇分」を答えます。

7 「〇時〇分」を読む アナログ

短針と長針を合わせて読み、いろいろなデザインの時計にもチャレンジ。

むずかしいときは「数直線」で

針の読み取りでつまずいたら、目盛りと数字が見やすい数直線の上で練習してから、もう一度時計に戻ります。

02 お金の名前・数える・両替 お金

実際のお買い物の場面を想定して、3つのステップで進めます。「手持ちのお金で買える・買えない」を判断できることがゴールです。

STEP1
名前を知る
硬貨・紙幣の
種類と名前

STEP2
合計を出す
全部で何円あるか
数える

STEP3
両替する
10円1枚=5円2枚
1000円までが目安



カードゲームのように楽しめる教材と、じっくり取り組むプリントを組み合わせます。ゲーム形式は小集団でも行えるので、順番を待つ・友だちの答えを聞く練習にも。計算そのものが難しい場合は、たし算の練習から始めます。

03 身だしなみ・健康管理 からだ

自分の体の状態に気づき、場面に合わせて整える力を育てます。

服装を選ぶ

活動・体感温度・季節や気温に合わせた服選び。高学年からは印象やTPOも。

清潔を保つ

ハンカチ・ティッシュを使う習慣。お風呂など家庭での習慣は保護者さまと協力して。

生活リズム

就寝・起床の時間を自分で考え、整えていきます。

体調を伝える

ケガや体調不良のとき「どこが・どう痛いか」を大人に伝え、休む練習を。



04 片付け・持ち物・時間の管理

自己管理

学校生活で困りやすい「忘れ物」「なくし物」から、予定や目標を自分で立てる力まで。年齢が上がるにつれて、自分で管理できる範囲を広げていきます。

片付け

道具やおもちゃの置き場所を決めるなど、片付けやすくする工夫を身につけます。

持ち物管理

学校での持ち物管理、プリントをなくさないコツ、忘れ物・落とし物を防ぐ工夫。

予定を立てる

1日の過ごし方から、1週間・1か月の予定づくりへ。小学校中学年～中高生向け。

あしたの もちもの

- ☒ れんらくちょう
- ☒ すいとう
- ☒ ハンカチ・ティッシュ
- ☐ たいそうふく
- ☐ プリント(ファイルに入れる)

チェック表で「見てわかる」形にすると、自分で確かめられるようになります

予定は、短い期間から長い期間へ

小学校中学年～

1日

すること・時間の
使い方を考える

→ 小学校高学年～

1週間

学校・習い事・
宿題を並べる

→ 小学校高学年～

1か月

行事や締め切り
から逆算する

高学年～中高生は、ワークブックで「目標を立てて取り組む」

「何のために」を考えるとところから始め、現実的で具体的な目標を立て、計画・習慣づくり・振り返りまでを順に進めます。将来の「はたらく」にもつながる、自分で自分を動かす練習です。

1

目的を
考える

2

具体的な
目標

3

達成の
計画

4

習慣を
つくる

5

ふり
かえる

05 社会のマナー・身を守る

社会で

家や施設の外で過ごす時間が増える年齢に向けて、社会の中で安心して行動するための力を練習します。



社会のルールとマナー

電車に乗るときなど、身近な場面のルールとマナーを考えます。

身を守るルール

年少さんから取り組める、自分の身を守るための基本のルールを確認します。

「この後どうなる？」を予想して、危険を防ぐ

イラストや文章で場面を見て、次に起こりそうなことを予想します。遊びの中の危険にも気づけるよう、考え方の順番を練習します。

1

場面を見る

だれが・どこで
なにをしている？

2

この後を予想

どうなりそう？
あぶないことは？

3

行動を決める

どうすれば
安全かな？

06 情報を集める

高学年～中高生

知りたいことを自分で調べ、正しいかどうか確かめる力は、進学や「はたらく」準備にも欠かせません。ワークブックで、少しずつ取り組みます。

必要な情報にたどりつく

何を調べればよいかを考えて、目的の情報を探します。

いろいろな方法で集める

インターネット、本、実際の体験、想像するなど、集め方を知ります。

正しいか確かめる

ひとつの情報をうのみにせず、確かめる方法を練習します。

07 支援の進め方

お子さま一人ひとりの目標に合わせて、保護者さまと相談しながら進めます。

1 ようすを知る

見学・面談や日々の観察で、得意・苦手・困りごとを把握

2 ねらいを決める

個別支援計画の中で、生活面の「まずはここから」を決定

3 教材で練習

ねらいに合う教材を、小さなステップで

4 ふりかえり・共有

できたことをご家庭に伝え、生活の中で使えるように

08 年齢に合わせたプログラム例

未就学～小学校低学年

児童発達支援・放課後等デイ

- ・カレンダー・時計の読み方
- ・活動に合った服を選ぶ
- ・ハンカチ・ティッシュを使う
- ・ケガや体調不良を伝える

小学校中学年

放課後等デイサービス

- ・お金の合計・両替
- ・気温に合わせた衣類の調整
- ・1日の過ごし方を考える
- ・遊びの危険を予測する

小学校高学年～中高生

放課後等デイサービス

- ・1週間・1か月の予定を立てる
- ・目標を立てて取り組む
- ・身だしなみとTPO
- ・情報を集め、確かめる

※年齢はあくまで目安です。お子さまのようすに合わせて、取り組む内容と順番を決めていきます。

09 ご家庭でもできる関わり

毎朝カレンダーを見る

「今日は何日・何曜日？」「遠足まであと何日？」を一緒に確かめる習慣を。

時計で声をかける

「長い針が6になったら出かけようね」など、時計を使った声かけで見通しが持てます。

お金を払う役を任せる

お買い物で、お子さまに支払いを任せてみる。まずは1つの商品からで十分です。

前の晩に持ち物をそろえる

チェック表を見ながら一緒にそろえ、少しずつ自分で確かめられるように。

まずはお気軽に、見学・ご相談を

お子さまのようすやお悩みをお聞きしながら、教材や活動の雰囲気を実際にご覧いただけます。



ご利用について

- ・対象:未就学のお子さまから高校生まで(児童発達支援・放課後等デイサービス)
- ・ご利用には、お住まいの市町村が発行する「通所受給者証」が必要です。手続きについてもお相談ください
- ・利用者負担は原則1割で、世帯の所得に応じて月ごとの上限額が決まっています。就学前3年間の児童発達支援は、利用者負担が無償化されています(おやつ代などを除く)

奈良県内4拠点でお待ちしています

天理本店

〒632-0076 天理市岩室町57番地4

菅原支店

〒631-0823 奈良市西大寺国見町三丁目2番10号

橿原支店

〒634-0008 橿原市十市町843-2

田原本支店

〒636-0247 磯城郡田原本町阪手638-1

ご予約の際にお知らせいただくと、見学がスムーズです

お子さまの年齢・学年

気になっていること

受給者証の有無

ご希望の曜日・時間帯

見学予約・ご相談はこちら

0743-62-7557

受付:平日 10:00~17:00 / www.green-2017.com



ホームページ



ご利用案内



LINE 友だち追加で、もっと気軽につながれます

生活リズム・ことば・学習など、子どもの発達に役立つ情報をお届けします。見学やご相談のきっかけにもどうぞ。QRコードを読み取って、友だち追加してください。